

GUIDEBOOK

The Hokkaido University Museum

MUSEUM MEISTER

北海道大学総合博物館

ミュージアムマイスター

認定コースのご案内 2025年度

THE HOKKAIDO
UNIVERSITY
MUSEUM
MEISTER

多様に専門化された 時代にこそ求められる ミュージアムマイスター

皆さんは、北海道大学の学生として、専門分野について深く学ぶことを目指し、旺盛な好奇心を持ち、努力を積み重ねながら日々を送っていると思います。総合大学である本学では、様々な分野の先端的な研究・教育が行われており、次世代を担う皆さんの期待にこたえる専門教育の場ができています。

一方で、北海道大学が、建学以来掲げてきた理念のひとつに「全人教育」があります。総合博物館は、学科や学部の垣根を超えて、広い分野を学ぶことができる本学の恵まれた環境を最大限に活かした「全人教育」を実践したいと考えました。「博物館を舞台とした体験型教育」課程を設定し、広い分野の知識を講義や実習で習得するだけではなく、博物館が主宰する課外演習や活動を通じて実践的に学ぶコースとしてつくられたのが、「ミュージアムマイスター」認定コースです。

本コースでは、一定水準をクリアした学生を「ミュージアムマイスター」として認定します。しかし、平成21年度から始まったこのプログラムで誕生したマイスターはまだ60名です。これは、この称号がいきなり選りすぐられた人材に与えられるものであるかを示しています。本コースで我々が重視するのは、単に知識だけではなく、現代社会において必要とされる「社会貢献のための高い見識と情熱」、「人間社会の持続的発展のために貢献できる知恵」を持つ人材の育成なのです。これは、まさに、北海道大学が目指す「全人教育」の完成形であるといえるでしょう。皆さんもマイスターを目指して、より充実した 学生生活を過ごしてみませんか。

2025年4月

総合博物館長
坪田 敏男



INDEX

- 01 多様に専門化された時代にこそ求められるミュージアムマイスター
- 02 ミュージアムマイスター認定コースの概要
- 03 開講科目一覧
- 04 開講科目の紹介
- 06 特集
「マイスターに聞いてみよう！」
- 08 登録申し込みについて



ミュージアムマイスター 認定コースの概要

「ミュージアムマイスター認定コース」とは、課題探究能力、協調性と自主性を備え、問題解決能力、コミュニケーション能力、マネジメント能力を持ち、自己評価の視点を身に付けた北大生を認定する教育システムです。シラバスの中から、北大総合博物館が認定した科目を履修し、さらに、博物館が主催するプロジェクトや講座に参加して、必要なクレジット数を取得し、一定基準の成績を修め、プレゼンテーションを含む面談をクリアした学生を、北大総合博物館長が「ミュージアムマイスター」として認定します。北海道大学の全学部・全大学院の学生が受講可能です。

● 受講方法

下記の通り科目種別（A～D）の手続きに従って、受講申請を行ってください。大学院生が学芸員養成課程関連科目以外のABの科目を聴講希望する場合は、まず、ミュージアムマイスター事務局にお問い合わせください。

A 全学教育科目 （総合科目、一般教育演習、主題別科目）

高等教育推進機構・教務課に、指定の期日までに履修届を提出してください。

B 学部専門科目

他学部学生が履修する場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する旨をご連絡ください。（履修は所定の申請を行えば認められますが、卒業認定に関わるかは学部によって異なります。マイスターコースのクレジットは取得することができます。）

C 大学院専門科目・大学院共通授業科目

学部学生も3年生以上は履修可能です。その場合は、担当教員にミュージアムマイスター認定コースの一環として参加する希望を伝え、了承を得て、ミュージアムマイスター事務局にご連絡ください。（マイスターコースのクレジットは取得できますが、学部学生は単位を取得できないため、履修届を提出する必要はありません。）

D オフカリキュラム・プログラム

通常の授業枠を超えて博物館が独自に開講するプログラムです。内容は、企画展の展示解説やセミナー運営など様々です。受講生は自分の空き時間を利用してプログラムに参加します。博物館独自のプログラムであるため、関連情報はシラバスには掲載されていません。卒業認定に関わる単位は取得できませんが、マイスターコースのクレジットは取得できます。受講生募集は、博物館ウェブサイトや構内ポスターで随時行います。今後の予定などはミュージアムマイスター事務局までお問い合わせください。

◎クレジットについて

クレジットはミュージアムマイスター認定コース独自のものです。大学院授業やオフカリキュラムのプロジェクトで認定されるクレジットは、卒業認定に関わる単位とは異なります。また「ミュージアムマイスター認定コース」で必要な科目と「学芸員資格取得」に必要な単位は異なります。

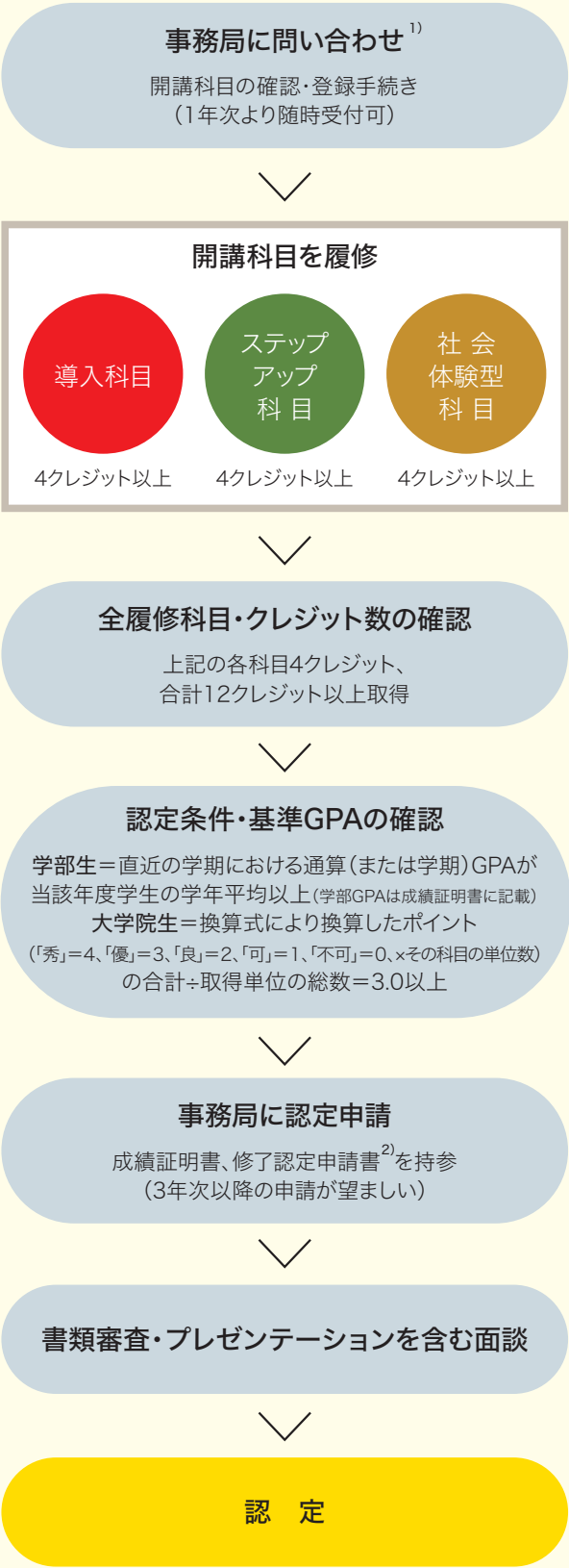
開講科目一覧

●下記の科目情報は令和7年3月1日現在のものです。変更になる場合もありますので、開講学期・曜日・時限についてはシラバスや各掲示板も必ず確認してください。

科目種別	授業名	開講時期	曜日(時限)	責任教員	クレジット数	
導入科目	A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] 生物の多様性	1	水曜(5)	柁原 宏	2
	A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] 「モノ」+「コト」+「ヒト」=北大総合博物館	1	木曜(5)	阿部 剛史	2
	A 全学教育科目(総合科目)	[環境と人間] フィールド科学への招待	1	金曜(5)	四ツ倉 典滋	2
	A 全学教育科目(総合科目)	[人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在	2	木曜(5)	山崎 幸治	2
	B 文学部専門科目	博物館資料保存論	1	火曜(5)	小山 亮	2
	B 文学部専門科目	博物館概論	1	水曜(1)	卓 彦伶	2
	B 文学部専門科目	博物館情報・メディア論	1	水曜(5)	久井 貴世	2
	B 文学部専門科目	博物館教育論	1	木曜(1)	卓 彦伶	2
	B 文学部専門科目	博物館資料論	1	金曜(5)	久井 貴世	2
	B 文学部専門科目	博物館経営論	2	火曜(5)	卓 彦伶	2
	B 文学部専門科目	博物館展示論	2	金曜(5)	小山 亮	2
ステップアップ科目	A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界	1	月曜(5)	吉崎 元章	2
	A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] PMFの響き	1	木曜(5)	三浦 洋	2
	A 全学教育科目(主題別科目)	[芸術と文学] 札幌と音楽文化	2	木曜(5)	三浦 洋	2
	A 全学教育科目(一般教育演習)	フィールド体験型プログラム ー人間と環境科学ー[1]	1	集中	倉田 正観	2
	A 全学教育科目(一般教育演習)	フィールド体験型プログラム ー人間と環境科学ー[2]	2	集中	倉田 正観	2
	A 全学教育科目(一般教育演習)	International Archaeological Field School in Rebun Island	1	集中	加藤 博文	2
	B 水産学部専門科目	魚類学	春	月曜(1) 水曜(2)	今村 央	2
	B 水産学部専門科目	水圏生物学	春	火曜(3～4)	河合 俊郎	2
	B 水産学部専門科目	水族館学	春	木曜(3～5)	田城 文人	2
	B 水産学部専門科目	魚病学	夏	火曜(1) 金曜(3)	笠井 久会	2
	B 文学部専門科目	芸術学：芸術論の歴史 2025	1	水曜(4)	今村 信隆	2
	C 大学院共通授業科目	デザインまちづくり学特論	2	水曜(2)	小澤 丈夫	2
	C 大学院共通授業科目	博物館学特別講義Ⅰ：学術標本・資科学	秋・冬	金曜(5)	首藤 光太郎	2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	パラタクソノミスト養成講座	—	随時※	—	0.5～1
社会体験型科目	A 全学教育科目(一般教育演習)	海や水産の研究を学ぶグループワーク	2	木曜(3)	大木 淳之	2
	C 理学院専門科目	博物館コミュニケーション特論（ミュージアムグッズの開発と評価）	2	木曜(2)	北野 一平	2
	C 大学院共通授業科目	博物館コミュニケーション特論Ⅲ ミュージアムグッズの開発と評価	秋・冬	木曜(2)	北野 一平	2
	C 水産科学院専門科目	水産科学特別実習Ⅰ 研究内容・周辺領域を紹介する教材を開発する実習	1	集中	大木 淳之	1
	C 水産科学院専門科目	水産科学特別実習Ⅱ 研究内容・周辺領域を紹介する教材を開発する実習	2	集中	大木淳之	2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	学生参加プロジェクト（展示制作・展示解説など）	—	随時※	湯浅 万紀子	1～2
	D 総合博物館・オフカリキュラム	卒論ポスター発表会（発表・運営）		12月～ 3月上旬(随時)	湯浅 万紀子	2

※ 受講者募集の案内は、北大総合博物館ウェブサイトに掲載されます

● 認定までの流れ



1) 博士課程から登録希望する場合は、クレジット取得計画書の提示を求める場合があります。

2) 修了認定申請書は「ミュージアムマイスター 修了認定申請書」で検索、もしくはミュージアムマイスター事務局までお越しください。

導入科目

環境・人間・文化に関する基礎知識を学習する科目や導入的なフィールド体験型科目。
博物館の存在意義や活動についての基礎知識を学習する科目。



全学教育科目(総合科目)

- ・[環境と人間] 生物の多様性
- ・[環境と人間] 「モノ」+「コト」+「ヒト」=北大総合博物館
- ・[環境と人間] フィールド科学への招待
- ・[人間と文化] アイヌ・先住民研究の現在

文学部専門科目

- ・博物館資料保存論
- ・博物館概論
- ・博物館情報・メディア論
- ・博物館教育論
- ・博物館資料論
- ・博物館経営論
- ・博物館展示論

ステップアップ科目

実物資料の扱い方やフィールドワークの方法を学習する科目や講座。
博物館の活動と運営について理解を深める科目。



全学教育科目(主題別科目)

- ・[芸術と文学] 学芸員から見た美術の世界
- ・[芸術と文学] PMFの響き
- ・[芸術と文学] 札幌と音楽文化

全学教育科目(一般教育演習)

- ・フィールド体験型プログラム 人間と環境科学―[1]
- ・フィールド体験型プログラム 人間と環境科学―[2]
- ・International Archaeological Field School in Rebun Island

水産学部専門科目

- ・魚類学 ・水圏生物学 ・水族館学 ・魚病学

文学部専門科目

- ・芸術学: 芸術論の歴史 2025

大学院共通授業科目

- ・デザインまちづくり学持論
- ・博物館学特別講義Ⅰ: 学術標本・資料学

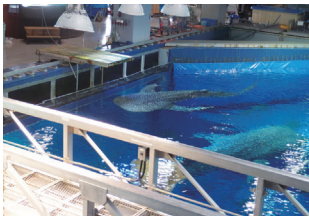
総合博物館・オフカリキュラム

- ・パラタクソノミスト養成講座

授業紹介

●水族館学

水族館をめぐる学問分野は非常に広範囲にわたっています。水産学、動物学、水質化学などの自然科学と、博物館学、経営学、教育学などの人文科学を総合的に理解することで、水族館とは何かということを学習します。また、水族館で実際に行っている研究活動や日常の仕事について、水族館の職員になるための過程についても紹介します。本講義は、実際に水族館で活躍している方々が講師を担当します。今年度は鴨川シーワールド国際海洋生物研究所の荒井一利氏、沖縄美ら島財団(美ら海水族館)の佐藤圭一氏、おたる水族館の三宅教平氏、しものせき水族館海響館の萩本啓介氏を予定しています。水族館職員を目指す学生にとっては、水族館の職員と接する機会ができるまたとないチャンスです。



●博物館学特別講義Ⅰ: 学術標本・資料学

「博物館学特別講義Ⅰ」では各専門分野における標本・資料の意味、取り扱い方を理解します。具体的には、標本・資料の採取・収集法、保管法、利活用の技法、データ整理・公開法などについての知識や考え方を習得します。各分野の教員が週替りで講義をするオムニバス形式の授業で、自然史系として1) 海藻、2) 陸上植物、3) 昆虫、4) 昆虫データベース、5) 魚類、6) 哺乳類・鳥類、7) 古生物、8) 無脊椎動物、9) 岩石・鉱物を、文化史系として10) 動物考古学、11) 言語学、12) 民族学、13) 標本史、14) 映像・科学技術史を取り扱います。学芸員資格のアドバンストコースとして位置付けていますが、同時に自然史・文化史を対象とした各研究分野への理解を深め、文理を融合した広い視野を持った教養人としての資質も身につけます。



社会体験型科目

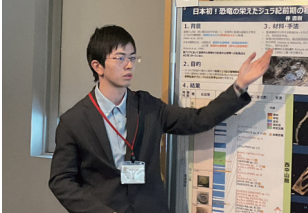
学生が博物館での活動を通じて社会とつながる実践と評価を行う科目やプロジェクト。博物館の展示や場を活用したプロジェクトの企画・運営・評価に参加したり、学生の研究成果を市民に向けて発信して意見交換する。



授業紹介

●卒論ポスター発表会

北海道大学を卒業するさまざまな学部4年生が、4年間の研究の成果を大きな1枚のポスターにまとめて発表します。学会での発表とは異なり、市民や他分野の学生にも理解できるようなポスターを制作し、わかりやすく説明することが求められます。中間発表会を複数回行い、教員の指導を受け、発表会に臨みます。



参加者の声

◎発表会を通じて最も実りを感じた点は、分野外の方々からのご意見・ご感想をいただけたことです。何度も練習に付き合って下さった博物館の先生方や運営スタッフは勿論、市民や審査員と交流できたことが印象深いです。ポスターの前には自分と数名の聴衆しか居らず、説明しながら相手の反応を確認できました。また、聴き手は話し手との距離の近さから素朴な疑問を投げかけて下さり、分野外ということもあって思いもよらない視点を持っている方も多かったです。この機会に、新鮮な視点を持って自分の研究を概観できたように思います。

◎三年前に発表会の運営スタッフとして携った後に、今回は発表者として臨みました。準備段階では前提知識の共有方法に苦心し、当日は専門性が高い内容を短時間で伝える難しさを痛感しました。学生が市民に研究発表するこの稀有な機会に、自然災害や環境問題に関する市民の意識の高さを知ることができ、関心が高い箇所に発表をより絡めることで興味を持っていただけたと思います。発表経験が有意義であった以上に、聞いて下さる方の顔ざや内容を理解しようとする姿勢が発表者に励みになると実感したことは貴重な体験であり、今後私が聞く側になった際もそのような姿勢を心がけたいと考えました。

●学生参加プロジェクト

市民に向けた大学博物館関連プロジェクトの企画・制作・運営・評価などに参加します。学生だけではなく、博物館教職員やボランティアと協働することで、コミュニケーション能力やマネジメント能力を養うことを目的としています。授業や普段の学生生活では味わうことのできない、貴重な社会体験の場です。

過去のプロジェクト: 企画展展示解説/卒論ポスター発表会の運営 他多数



受講者の声

夏季企画展の展示解説

◎担当した当初は、用意した解説をするのに精一杯でしたが、解説の回数を重ね、先生から毎回アドバイスしていただいたり、中間報告会で他の担当学生から対応について話を聞くことで、解説の内容と方法を聞き手の関心や年代に合わせて少しずつ工夫していくことができるようになりました。そして次第に自然に解説できるようになり、自身の成長を感じました。この展示解説体験によって、対話力や臨機応変な対応力も身につけることができたと感じています。初対面の来館者とコミュニケーションをとった経験を活かして、これからも様々な人と関わっていきたいです。

卒論ポスター発表会の運営

◎私は企画展展示解説と卒論ポスター発表会運営を経験しており、博物館でのイベントに関わるのは3回目でした。他の運営スタッフが全員3年以上上級生であると知った時は馴染めるか不安もありましたが、円滑にコミュニケーションがとれず負担が偏った前年度の反省を活かして積極的に発言したところ、どのスタッフも運営経験者としての自分の意見を尊重しながら柔軟に運営を進めてくださり、無事に発表会を終えることができました。来場者への声かけも前回より自然にできるようになり、過去の経験が活かしているようで嬉しかったです。今後も博物館での学びに積極的に関わり、さらに知見を深めていきたいです。

特集

マイスターに聞いてみよう！

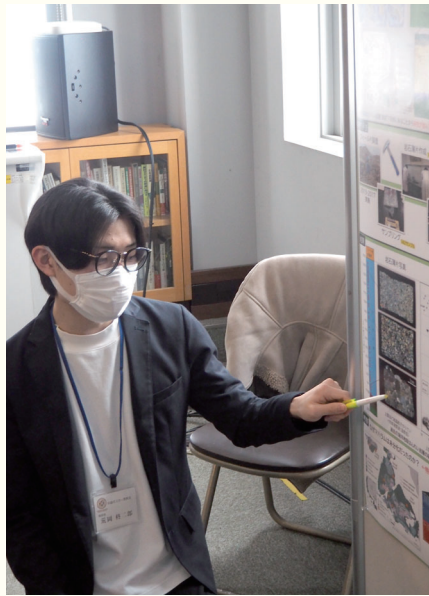
新マイスターからの message

ミュージアムマイスター認定コースでは、これまで60名のマイスターが誕生しています。
2023年度・2024年度にマイスターに認定された5名の学生に、受講きっかけ、印象に残っている授業やプロジェクト、マイスターコースの魅力、在校生の皆さんへのメッセージを語っていただきました。コースで培った経験を活かし、博物館内外の様々な場で活躍しているマイスター達の声聞いてみましょう。

message 1

荒岡 柊二郎

2023年度
理学部 4年次に認定



高校時代、オープンキャンパスで総合博物館を訪れた際に、ミュージアムマイスター認定コースの存在を知り、入学前から必ず受講しようとしていました。社会体験型科目では、1年次には運営スタッフ、4年次には発表者として異なる立場から卒論ポスター発表会に参加しました。印象深いのは、運営スタッフとして担当した広報ポスター制作です。市内の地下鉄駅や学校などに自分の制作したポスターが掲示され、それをみてたくさんの方が来館してくださったことは大きな喜びでした。マイスターコースでは、全国でも有数の大学博物館で、専門分野を超えた広い視野を持ち、実践的な経験を積むことができます。成長の機会にあふれたプログラムですので、是非チャレンジしてみてください。



Shujiro ARAOKA

message 2

古郷 優平

2023年度
理学院 修士2年次に認定



修士1年のとき、総合博物館での夏季企画展示「感じる数学」にスタッフとして参加したことをきっかけに、博物館活動に興味を持ち、ミュージアムマイスター認定コースを受講しました。学生がイベントを企画・運営・評価する授業では、親子を主対象とした展示解説を担当し、当初は数学専攻の自分が対応できるか不安でしたが、他分野を調べたり、専門の先生に相談する中で、非専門家ならではの視点を活かせることに気づき、来館者目線の展示解説ができ、貴重な経験を得ました。この経験を通じ、専門分野を超えた視点の重要性を実感しました。博物館活動は、研究に新たな視野を広げる機会となります。分野横断的な研究が求められる時代において、このプログラムは学部や修士課程だけでなく、博士課程の学生にもぜひ体験してほしいと思います。

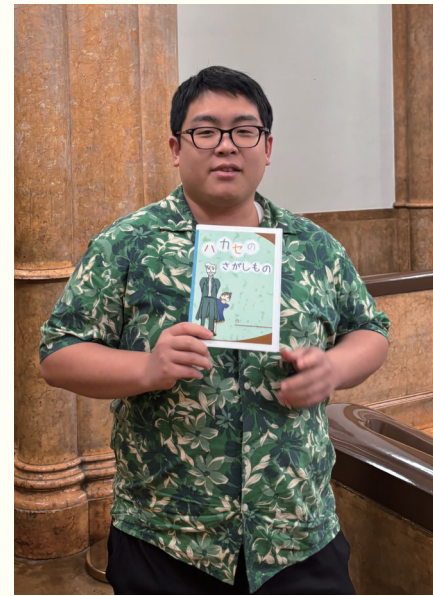


Yuhei KOGOH

message 3

長峰 実央

2023年度
理学院 修士2年次に認定



現代の研究者に必要とされるコミュニケーション能力が私自身に不足していると感じていた折に、ミュージアムマイスター認定コースにプロジェクトの企画・運営を通して成長ができる授業が開講されていることを知り、マイスターコースへの登録を決めました。当初は初めてのことでなければ多くの困難がありましたが、企画開催に近づくにつれて自身に何ができるか、何を得意としているかを認識できました。企画は参加者からご好評いただき、無事に完結しました。ここで学んだことを活かし、現在に至るまで様々なイベントを学内外で主催できるようになりました。マイスターコースでは博物館に関わる様々な授業やイベントを通して、今後必要となる知識や経験が得られます。学部生と大学院生の垣根を越えて参加できるプログラムですので、ぜひ楽しんでください。



Mao NAGAMINE

message 4

佐藤 英

2024年度
理学部 3年次に認定



ミュージアムマイスター認定コースは高校生の時から知っていて、博物館が好きな私にとっては大学受験の目標のような存在でした。期待に胸を膨らませて受講した本コースでは、想像以上に楽しく、そして自分の力になるような経験をすることができました。特に印象に残っている活動は卒論ポスター発表会です。私は2年連続で運営に取り組みました。1年目ではとにかく無事当日を迎えられるようにと手探りで活動を進めていた私でも、2年目にはさらに多くの方に楽しんでいただくにはどうすればいいかと考える余裕ができ、経験者として他の運営スタッフにも頼ってもらえるような動きができたことは、自分の中で大きな自信になっています。マイスターコースでは、博物館についてはもちろん、他の学生と協力して活動を成功させる方法や社会に対して学びを発信する方法についても学ぶことができます。少しでも興味のある方にはぜひ挑戦してほしいと思います。



Hana SATOH

message 5

三田尾 有希子

2024年度
文学院 修士2年次に認定



博物館の雰囲気が好きで、ミュージアムマイスター認定コースに興味を持ちました。その時々で興味を持ったプロジェクトに参加するスタイルでしたが、他学部・他専攻の学生と交流したり、教職員の方々からの指導を受けたりする中で、自然と博物館を取り巻く多様な視点を学ぶことができました。特に、卒論ポスター発表会の運営に参加した際には、学内・学外というターゲット層を意識して2種類の広報ポスターを制作するなど、来館者を想定して動く場面が多くあり、目的に応じた制作や運営の実践力を培うことができました。本コースは、自分の興味や得意分野をチームの中でどう活かすかを考える機会を提供してくれます。これは、多様な人に開かれた博物館という場だからこそ得られる経験です。何か好きなものがある方は、ぜひ受講を検討してみてください。それが、自分と社会をつなぐきっかけになるかもしれません。



Yukiko MITAO

登録申し込み について

北大総合博物館のウェブサイト

(<https://www.museum.hokudai.ac.jp/education/museummeister/>)

からダウンロードし、以下の記入例を参考にして、

必要事項を記入してください。

※注意事項

黒のボールペンではっきりと記入してください。

書き間違い、記入漏れ等がないか、もう一度しっかりと見直してください。

登録申込書



整理番号

私は、ミュージアムマイスター認定コースに下記の通り登録を申し込みます。

フリガナ ホク ダイ タ ロウ

氏名 北大 太郎

〒 060-0810 フリガナ サッポロシ キタク

札幌市北区

連絡先住所 キタ 10 ジョウ ニシ 8 チョウメ ホッカイドウダイガク

北10条西8丁目 北海道大学

申し込み年月日 2025 年 4 月 20 日

生年月日 西曆 2005 年 12 月 1 日

性別 ☒ 男 · ☐ 女

学部・学年 文学部 1 年

学生番号 00000000

電話番号 011-706-4704

Eメールアドレス

履修科目について リーフレットを参考に履修科目の左側の欄に、該当するマークを記入してください。

既に履修した科目=◎ 現在履修している科目=○

[illegible]

システム管理者記入欄 認証年月日 西暦 年 月 日 登録番号

必要事項を記入した登録申込書を持参のうえ、

ミュージアムマイスター事務局に提出し、登録手続きを行ってください。



北海道大学総合博物館

ミュージアムマイスター事務局

〒060-0810 札幌市北区北10条西8丁目

北海道大学総合博物館2階 研究支援推進員室

E-mail: suishin@museum.hokudai.ac.jp

TEL & FAX: 011-706-4704 内線(4704)

開室日時:火～金 10:00～16:00

